

## 『よさ、とりえ、輝く個性を伸ばし、笑顔あふれる学校』



# 長野中だより

### 学校教育目標

よく考え進んで学ぶ生徒  
誠実で思いやりのある生徒  
心身ともにたくましい生徒

令和元年11月1日発行 第7号 行田市立長野中学校 TEL 048-554-2240  
ホームページアドレス <http://www.gyoda-naganochu.ed.jp/news/>



## ピンチをチャンスに

校長 漆原 亮

先日、こんなことわざを目にしました。

### When life gives you lemons, make lemonade.

中学校で習う英単語が使われているので、日本語に訳してみると、

『人生が、あなたにレモンを与えるなら、レモネードを作れ』

となりますが、ちょっとピンときません。ここで使われている「lemon レモン」という語がポイントになっています。

私たちは「lemon レモン」と聞くと、さわやか、フレッシュ、清涼感、といったイメージを抱きます。時には、初恋を連想することがあるかもしれません。実際に、辞書を引いて調べてみると、「lemon レモン」には、「望ましくないもの、期待はずれのもの」という意味もあり、「よくないもの、うまくいかないこと」を表しているということです。

つまり、上記の英文は『人生がレモンという試練を与えたなら、(それに砂糖を加えて)レモネードという良いものを作ろう』ということだそうです。「逆境に置かれてもそれを踏み台にして順境に変えよ。」という示唆になっているわけです。「マイナスをプラスに」、あるいは「ピンチをチャンスに」と言ってもいいと思います。

世の中にはピンチをチャンスに変えた話を耳にすることがあります。たとえば今では当たり前の付箋紙、『ポストイット』がそんな代表例の一つです。『ポストイット』が製品化されるまでのエピソードがスリーエム社の Web ページにありますので、それを参考に紹介します。



3M社中央研究所の研究者、スペンサー・シルバーは、接着力の強い接着剤の開発要求を受け、実験を繰り返して試作を重ねるうちに、ひとつの試作品を作りあげました。ところがテスト結果は期待していたものとは全く違っていたのです。「よくつくけれど、簡単に剥がれてしまう」、なんとも奇妙な接着剤ができあがりました。接着剤としては明らかに失敗作でした。通常こうした失敗作は棄てられてしまうものですが、なぜかその時シルバーはそうしなかったのです。顕微鏡を覗いた彼は、従来の接着剤には見られないふしぎな現象を目にしてすっかり虜になってしまったのです。そして彼は直感しました。「これは何か有効に使えるに違いない！」

その日からシルバーは社内のあらゆる部門の人たちにこの発見を紹介し、見本を配り、使いみちはないか、新しい用途開発ができないだろうか、と会社中を歩きました。

コマーシャル・テープ製品事業部の研究員、アート・フライは教会の聖歌隊のメンバーであり、いつものように讃美歌集のページをめくりました。すると目印に挟んでいたしおりがひらりと滑り落ちてしまいました。またか…と思った瞬間、フライの頭の中にひらめくものがありました。「これに、あの接着剤を使えばいいんだ！」シルバーが作り出した奇妙な接着剤の用途がこの時初めて具体的なイメージとなったのです。試作を続け、ようやく完成した試作品を手にした時、フライはさらに重大なことに気が付きました。

「これは単なる『良いしおり』としてでなく、製品自体が貼ったりはがしたりできる機能を備えたまったく新しいメモ・ノート、すなわちコミュニケーションツールとして使える！」

そして次のような記述もあり、とても印象に残ります。

今では誰もが当たり前に使っているポスト・イット。製品の誕生は、「アイデアを現実化するために、あきらめずに努力することはインスピレーションと同様に重要である」という、貴重な教訓を私たちに思い出させます。

「失敗は成功のもと」、「失敗は成功の母」と言います。かの発明王トーマスエジソンは「私は

失敗したことがない。ただ、1万通りの、うまく行かない方法を見つけただけだ。」とも言っています。失敗との付き合い方いかんで、大きく飛躍するチャンスを私たちはつかむことができるのです。

「失敗した」という結果だけにこだわってはいけません。「失敗から学ぶ」、「失敗を生かす」といった前向きな取組によって、打開策が生まれてくるものです。

そして「ピンチをチャンスに」変えるには『問題解決力』が必要です。この『問題解決力』を向上させるには、「問題に対する心構え」、「問題の解き方」が重要になってきます。そのためには、「自分でものを考え、情報を集め、判断し、対策を立て、行動できる力を身につけること」が望まれます。この力こそが、これからの時代、社会が急速に変化し、予測が困難な時代に求められるものであり、現在の『学習』に強調されているところです。

令和の時代となり、これまで以上に新たな課題に直面することでしょう。先日の台風被害などもその一つではないでしょうか。ここで私たちは『ピンチをチャンスに』変える知恵と行動を自覚し、新たな時代の形成者として歩むことが希求されているのではないのでしょうか。

## 令和元年度校内音楽会



10月19日、校内音楽会が開かれました。各クラスともそれまでの練習成果を十分発揮し、美しい歌声が響きました。思いが伝わってきました。この音楽会の成功には皆さん一人一人の頑張りもさることながら、実行委員の皆さんの、陰に陽にの活躍も見逃せません。手作りで温かみの感じられる、それでいて真剣勝負のすばらしい音楽会でした。きっとこの行事の経験はどの生徒にとっても大きな糧となることでしょう。



## 11月行事予定

11/1	金	A短、三者面談、保育実習3年
5	火	A短、三者面談
6	水	A短、三者面談
7	木	A短、専門委員会、歯科健診
8	金	安全の日、交通安全指導
11	月	東部地区学力検査
13	水	A短、生徒会立合演説会・選挙 さくらのぞみ社会科見学
14	水	県民の日 閉庁

15	金	木曜授業
18	月	6時間授業
20	水	3年2学期期末テスト
21	木	3年2学期期末テスト
22	金	B短、生徒朝会 部活動中止期間(28日朝練習まで)
25	月	安全の日
27	水	1、2年2学期期末テスト
28	木	1、2年2学期期末テスト

